

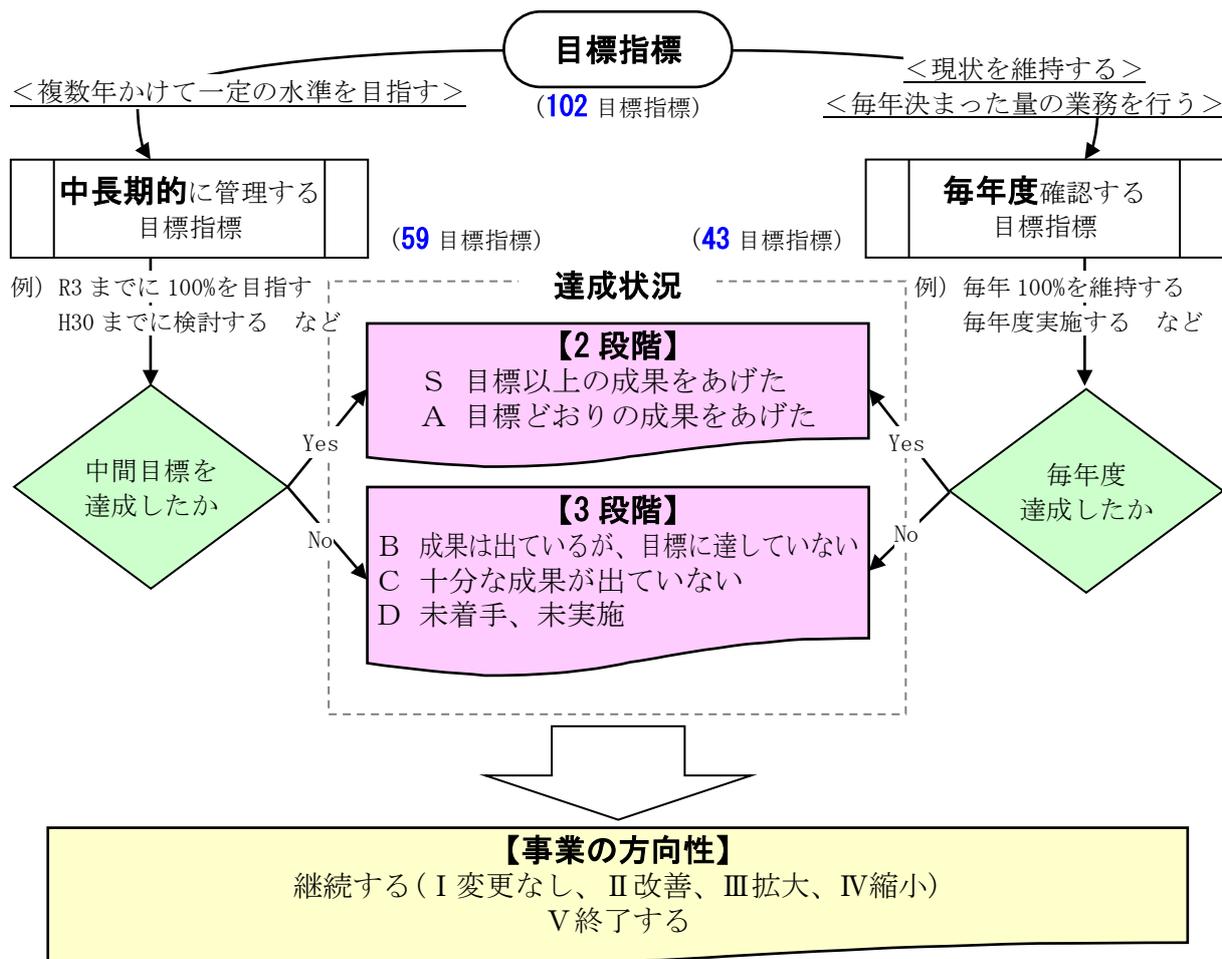
秋田市上下水道事業基本計画の中間評価 (平成29年度～令和3年度)

秋田市上下水道事業基本計画（計画期間：平成29～令和8年度）について、中間目標年度（令和3年度）を迎えたことから、これまでの5年間の取組・事業について中間評価を行いました。

1 評価方法

推進計画に記載している全 102 取組・事業（再掲含む）を、目標指標の性質から「中長期的に管理する目標指標」と「毎年度確認する目標指標」の2つに分類し、中間目標に対する達成状況を5段階で評価しました。

中間目標を達成した場合は2段階（S又はA）で、成果の状況によって評価し、中間目標を達成できなかった場合は3段階評価（B、C又はD）で、実施内容や未達成合いによって評価しました。



図表 1 中間評価のイメージ

2 中間評価の概要

全 102 目標指標（再掲含む）のうち、66 件（64.7%）について中間目標を達成し、特に成果を上げた 5 件（4.9%）はS評価、残る 61 件（59.8%）をA評価としました。中間目標を達成できなかった目標指標のうち 29 件（28.4%）をB評価、5 件（4.9%）をC評価、2 件（2.0%）をD評価としています。

S、A又はB評価の合計は 95 件（93.1%）で、9 割以上の取組・事業で成果を上げており、概ね順調に計画は進捗しています。

図表 2 目標指標別に見た中間評価（単位：件）

基本方針	目標 指標数	中間評価				
		S	A	B	C	D
1 安全な水道水の供給	12		10	1		1
2 快適な生活空間の維持向上	10		7	2	1	
3 災害に強い上下水道の構築	41	5	20	15	1	
4 お客さまサービスの向上	4		2	1	1	
5 経営基盤の強化	23		17	5	1	
6 環境の配慮	12		5	5	1	1
合計	102	5 (4.9%)	61 (59.8%)	29 (28.4%)	5 (4.9%)	2 (2.0%)
		66 (64.7%)				
		95 (93.1%)			※再掲含む	

今後の事業の方向性については、10 件（14.9%）を終了し、57 件（85.1%）の取組・事業を継続します。継続する取組・事業は、令和 3 年度に策定した今後 5 年間の推進計画（計画期間：令和 4～8 年度）に基づいて適切な事業実施に努めてまいります。

図表 3 取組・事業別に見た事業の方向性（単位：件）

基本方針	取組・ 事業数	事業の方向性				
		I 継続	II 改善	III 拡大	IV 縮小	V 終了
1 安全な水道水の供給	11	9	1			1
2 快適な生活空間の維持向上	10	10				
3 災害に強い上下水道の構築	25	21	1			3
4 お客さまサービスの向上	4	1	2			1
5 経営基盤の強化	13	9				4
6 環境の配慮	4	3				1
合計	67	53 (79.1%)	4 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (14.9%)

※再掲含まない

基本方針1 安全な水道水の供給

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(1) 原水の安定性確保	7003	① 水質検査機器整備事業 【主要な業務】 ・水質計器整備 ・水質検査機器更新	水質検査機器性能維持達成度(%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	検査機器の機能的耐用年数を基に更新し、機器の特性(稼働率と点検頻度)を考慮して策定した整備計画に基づき保守点検を行い、機器の性能を維持した。
	7005	② 取水導水施設点検管理業務 【主要な業務】 ・取水施設点検清掃 ・導水管点検 ・沈砂池泥上げ ・豊岩浄水場取水口前除砂	取水導水施設点検管理達成度(%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	定期的に取水施設などの点検、清掃を実施することで機能の維持を図ることができた。
	7006	③ 松瀬浄水場等取水井内部清掃点検業務 【主要な業務】 ・ケーシングおよびストレーナーの点検	取水井清掃点検達成度(%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	定期的に点検清掃をすることで浄水場の機能を適切に維持できた。
(2) 適切な水質管理体制の維持	7003	① 水質検査機器整備事業【再掲】	水質検査機器性能維持達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		
	7004	② 水道G L Pの認定維持 【主要な業務】 ・品質管理システムの運用(年間計画策定、内部監査、マネジメントレビュー) ・水道G L P認定更新(4年ごと)	水道G L Pの認定維持 【目指すべき方向性】 認定の維持	認定の維持	認定の維持	認定の維持	認定の維持	A	水道G L Pの品質管理システムを適切に運用し認定を維持した。 ・平成29年度 更新審査 ・令和元年度 中間審査 ・令和3年度 認定延長により、更新審査を令和4年度へ延期
	7002	③ 水質監視機器整備事業 【主要な業務】 ・配水場系末端部における残留塩素の現状調査(~H30) ・水質監視および追加塩素注入装置設置(H31~)	塩素臭から見たおいしい水達成率(%) 【目指すべき方向性】 100%を目指す	50.0	50.0	100.0	100.0	D	水質監視機器、追加塩素装置の設置による目標達成を検討したが、毎日検査の委託業務内容の見直しによる対応で機器設置と同様の効果が得られるとの結論に至ったことから機器の設置を行わないこととした
	1006	④ 水安全計画の運用 【主要な業務】 ・実施状況の検証 ・水安全計画の見直し	水安全計画の検証・見直し 【目指すべき方向性】 毎年度実施	—	実施	毎年度実施	毎年度実施	A	水安全計画の検証・見直しを毎年度実施した。

【凡例: 中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針1 安全な水道水の供給

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント	
				基準	実績	目標	目標			
(3) 蛇口から出る水の安全性確保	9001	① 仁井田浄水場更新事業 【主要な業務】 ・基本計画策定 ・基本設計 ・官民連携導入可能性調査 ・業者選定、契約締結	仁井田浄水場更新基本計画の策定 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">策 定</div>	未策定	平成30年度までに策定				A	平成30年9月に仁井田浄水場更新基本計画を策定し、公表した。
	5005	② 鉛製給水管取出部解消事業 【主要な業務】 ・鉛製給水管の取替え工事	取出部鉛製給水管率 (%) 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">0%を目指す</div>	4.4	1.3	0.6	0.0	B	平成29年度から令和3年度にかけて鉛製給水管の取替え工事や配水管整備工事を実施した結果、取出部鉛製給水管率が減少したが、中間目標には届かなかった。	
	2001	③ メーター廻り鉛製給水管の解消事業 【主要な業務】 ・鉛管撤去、樹脂製BOX設置、メーター移設、固定止水栓取付など	メーター廻り鉛製給水管率 (%) 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">0%を目指す</div>	11.3	0.8	4.8	0.0	A	現地踏査をした結果、当初想定していた工事対象件数が少なくなったこともあり、中間目標よりも事業が進んだ。	
	3001	④ 貯水槽水道の適切な管理 【主要な業務】 ・貯水槽管理状況調査 ・不備箇所、共同住宅への訪問指導	貯水槽水道指導率 (%) 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">100%を維持</div>	100.0	100.0	100.0	100.0	A	全所有者に対し、毎年1回以上の清掃・水質検査に係る管理啓発用パンフレットを送付したほか、管理不備箇所について訪問指導や助言を行った。	
	3002	⑤ 直結式給水の普及促進 【主要な業務】 ・直結式給水への推奨指導	貯水槽式給水から直結式給水への切替件数 (件/年) 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">7件以上を目指す</div>	2	4	7以上	7以上	A	単年度目標を達成できない年度もあったが、平成29年度から令和3年度までに計36件、平均7.2件/年の直結式給水の切替が行われた。	

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針２ 快適な生活空間の維持向上

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(1) 未普及地域の解消	6001	① 公共下水道整備事業	下水道処理人口普及率 (%)	92.7	94.7	94.7	96.4	A	事業を計画的に進めた結果、中間目標達成に至った。
		【主要な業務】 ・秋田地域私道等面整備工事 ・下浜地区幹線および面整備工事 ・太平地区幹線および面整備工事	【目指すべき方向性】 			達成			
	6011	② 浄化槽整備推進事業	浄化槽設置進捗率 (%)	32.3	34.3	37.9	41.1	C	浄化槽設置申請に基づき各戸に浄化槽を設置する事業であるが、浄化槽設置後に自己負担で宅内設備の改造等を行わなければならない、特に高齢者世帯で申請を躊躇する傾向があり、申請件数が伸び悩み、中間目標達成に至らなかった。
		【主要な業務】 ・浄化槽設置工事 約50基 ・放流ポンプ設置工事	【目指すべき方向性】 			未達成			
6009	③ 未整備路線の解消	汚水処理人口普及率 (%)	97.8	98.7	99.0	99.3	B	未整備路線の解消に努めているものの整備困難な箇所が多く、中間目標達成に至らなかった。	
	【主要な業務】 ・整備可能路線における、道路管理者との協議や現地調査、私道申請事務の補助、町内会等を通じた事業PR ・単独費による浄化槽整備の検討	【目指すべき方向性】 			未達成				
4007	④ 上下水道統合型GISデータ更新業務	上下水道統合型GISデータ更新率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	A	上下水道統合型GISのデータ更新を適切に実施した。	
	【主要な業務】 ・データ更新	【目指すべき方向性】 			達成				

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針2 快適な生活空間の維持向上

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(2) 公共用水域の水質保全	3003	① 水洗化の促進 【主要な業務】 ・改造資金等の融資あっせん、助成金の交付 ・早期接続依頼はがき発送 ・接続促進啓発パンフレット配布 ・未接続世帯への訪問	水洗化率 (%) 【目指すべき方向性】 93.3%を目指す	89.1	90.5	91.5	93.3	B	供用開始の日から2年経過した世帯に早期接続依頼はがきを交付、未接続の世帯には未水洗化アンケートを送付、未接続世帯に個別訪問等を行うなど啓発に努めた結果、水洗化率は向上したものの中間目標には届かなかった。
	8003	② 下水処理場施設整備事業 【主要な業務】 ・八橋処理場1系汚水ポンプ改修工事 ・八橋処理場2系汚水ポンプ改修工事	下水道目標水質達成率(BOD、SS) (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	汚水処理および汚水ポンプ等の工事を適正に実施した。
	8005	③ 農業集落排水処理施設整備事業 【主要な業務】 ・エンジンポンプ改修工事 ・曝気攪拌機改修工事 ・播磨機減速機改修工事 ・非常用発電機改修工事	農業集落排水目標水質達成率(BOD、SS) (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	汚水処理を適正に実施した。
	8001	④ 汚水ポンプ場等改築・更新事業 【主要な業務】 ・設備等更新工事(川口P、馬場P、明田・旭橋雨水P、山王P、新屋P)	汚水ポンプ場等更新実施率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	汚水ポンプ場等の改築業務を計画どおりに実施した。
	8004	⑤ マンホールポンプ施設更新事業 【主要な業務】 ・マンホールポンプ設備等更新工事	マンホールポンプ施設更新実施率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	マンホールポンプ等の更新を適正に行った。
	8002	⑥ 汚水ポンプ場等維持管理業務 【主要な業務】 ・ポンプ場機械設備改修工事 ・ポンプ場電気設備改修工事	下水道施設の非常時電源保持率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	非常時電源保持率を維持できた。

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針3 災害に強い上下水道の構築

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(1) 施設の耐震化	8501	① 仁井田浄水場更新事業【再掲】	仁井田浄水場更新基本計画の策定	—	30年度までに策定				
	5002	② 配水幹線整備事業	配水幹線の耐震化率 (%)	61.0	75.2	75.7	83.4	B	平成29年度から令和3年度にかけて配水幹線整備を実施した結果、老朽管の更新等が進んだため、水道管路の耐震化率が向上したが、中間目標には届かなかった。
		【主要な業務】 ・土崎環状線整備工事 ・千秋中通明田線、金足線、新屋線整備工事 ・外旭川幹線、豊岩幹線整備工事	【目指すべき方向性】 83.4%を目指す				未達成		
	5003	③ 送配水施設整備事業	送水管の耐震化率 (%)	58.4	63.4	61.8	62.9	S	平成29年度から令和3年度にかけて送水管の廃止、送水管整備工事および送水管移設工事を実施した結果、水道管路の耐震化率が向上した。
		【主要な業務】 ・竹ノ花送配水管整備工事 ・手形山送水管整備工事 ・椿川・上野台配水系整備工事 ・平尾鳥送水管整備事業	【目指すべき方向性】 62.9%を目指す				達成		
	5001	④ 配水管整備事業	水道管路の耐震化率 (%)	20.4	29.2	27.1	33.0	S	平成29年度から令和3年度にかけて配水管整備工事を実施した結果、老朽管の更新等が進んだため、水道管路の耐震化率が向上した。
		【主要な業務】 ・老朽管更新工事 ・重要給水施設管路整備工事 ・配水管布設替・布設工事	【目指すべき方向性】 33.0%を目指す				達成		
	6004	⑤ 下水道長寿命化計画に基づく改築・更新事業	下水道管路改築実施率 (%)	24.6	30年度 42.3	30年度までに 43.7%		B	計画的に老朽化管路の改築・更新を進めたが、今後、改築事業の移行に伴うストックマネジメント計画に基づき成果をあげていく。
【主要な業務】 ・中央、土崎、新屋地区管渠更生工事 φ250～1,200 約14.5km		【目指すべき方向性】 43.7%を目指す				未達成			
6005	⑥ スtockマネジメント計画に基づく改築・更新事業	下水道管路改築実施率 (%)	—	55.8	60.5	88.8	B	当初目標の整備延長には達しなかったが、管渠の重要性などを考慮して、優先順位を付けた計画的な管渠の改築更新を進めた。	
	【主要な業務】 ・ストックマネジメント計画の策定 ・既存管の点検および調査 ・中央、土崎地区管渠更生工事	【目指すべき方向性】 88.8%を目指す				未達成			
8001	⑦ 汚水ポンプ場等改築・更新事業【再掲】	下水道施設の耐震化率 (%)	77.4	100.0	94.7	100.0	S	土崎汚水中継ポンプ場耐震補強工事を実施したことにより建築部分の耐震化を終了した。	
	【主要な業務】 ・設備等更新工事（川口P、馬場P、明田・旭橋雨水P、山王P、新屋P）	【目指すべき方向性】 100%を目指す				達成			

【凡例：中間評価】

S 目標以上の成果をあげた

A 目標どおりの成果をあげた

B 成果は出ているが、目標に達していない

C 十分な成果が出ていない

D 未着手、未実施

基本方針3 災害に強い上下水道の構築

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(2) 施設機能の維持向上	7001	① 浄水場等整備事業 【主要な業務】 ・建物改修工事 ・設備改修・更新工事	浄水場設備経年化率 (%) 【目指すべき方向性】 54.0%を維持	54.0	52.0	54.0	54.0	B	設備改修・更新を計画的に実施し、浄水場設備の経年化の進行を抑制した。
	4005	② 配水ポンプ場等設備更新事業 【主要な業務】 ・ポンプ場設備更新工事	配水ポンプ場設備機能維持率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	配水ポンプ場等の設備更新を適切に実施した。
	9001	③ 仁井田浄水場更新事業【再掲】	仁井田浄水場更新基本計画の策定	未策定	30年度までに策定				
	5002	④ 配水幹線整備事業【再掲】	配水幹線の耐震化率 (%)	61.0	75.2	75.7	83.4		
	5003	⑤ 送配水施設整備事業【再掲】	送水管の耐震化率 (%)	58.4	63.4	61.8	62.9		
	5001	⑥ 配水管整備事業【再掲】 【主要な業務】 ・老朽管更新工事 ・重要給水施設管路整備工事 ・配水管布設替・布設工事	水道の有効率 (%) 【目指すべき方向性】 95.5%を目指す	94.3	94.1	95.5	95.5	B	平成29年度から令和3年度にかけて配水管整備工事を実施した結果、老朽管の更新等が進んだが、中間目標には届かなかった。
	5004	⑦ 受託工事関連事業 【主要な業務】 ・配水管整備工事 ・配水管移設工事	水道管路の耐震化率 (%)【再掲】	20.4	29.2	27.1	33.0		
	4002	⑧ 水管橋等維持管理業務 【主要な業務】 ・大松沢水管橋、太平川水管橋塗装および保温工事 ・秋田南大橋添架管の架台接触部重防食塗装工事	水管橋機能維持率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	水管橋の塗装工事および補修工事を適切に実施し、水管橋の機能を維持した。

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針3 災害に強い上下水道の構築

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(2) 施設機能の維持向上	4004	⑨ 減圧弁等維持管理業務 【主要な業務】 ・新屋低区など減圧弁修繕工事	減圧弁機能維持率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	減圧弁等の分解整備および保守点検を適切に実施し、減圧弁の機能を維持した。
	4001	⑩ 漏水防止業務 【主要な業務】 ・市内を2ブロックに分け、2年1巡のサイクルで漏水調査	水道の有効率 (%) 【再掲】	94.3	94.1	95.5	95.5		
	4006	⑪ 上下水道統合型GIS維持管理業務 【主要な業務】 ・Web用機器購入 ・システム保守	上下水道統合型GIS保守率 (%) 【目指すべき方向性】 100%を維持	100.0	100.0	100.0	100.0	A	上下水道統合型GISの機能を維持した。
	4007	⑫ 上下水道統合型GISデータ更新業務【再掲】	上下水道統合型GISデータ更新率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0		
	1007	⑬ アセットマネジメントの運用 【主要な業務】 ・アセットマネジメントの更新	アセットマネジメントの検証・見直し 【目指すべき方向性】 毎年度実施	実施	実施	毎年度実施	毎年度実施	A	アセットマネジメントの検証を毎年度実施し、令和3年度に見直した。
	6004	⑭ 下水道長寿命化計画に基づく改築・更新事業【再掲】※	下水道管路改築実施率 (%)	24.6	30年度までに43.7%				
	6005	⑮ スtockマネジメント計画に基づく改築・更新事業【再掲】※	下水道管路改築実施率 (%)	—	55.8	60.5	88.8		
	8001	⑯ 汚水ポンプ場等改築・更新事業【再掲】	下水道施設の耐震化率 (%)	77.4	100.0	94.7	100.0		
	8004	⑰ マンホールポンプ施設更新事業【再掲】	マンホールポンプ施設更新実施率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0		

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針3 災害に強い上下水道の構築

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(2) 施設機能の維持向上	6006	⑱ 下水道管渠改良事業 【主要な業務】 ・下水道管渠改良工事	陥没・つまり件数(件/年) 【目指すべき方向性】 60件を目指す	119	108	89	60	B	老朽管の更生工事を計画的に実施していることや管渠不具合箇所発見時の速やかな修繕等により、陥没・つまりの件数は減少傾向にあるものの中間目標達成には至らなかった。
	8002	⑲ 汚水ポンプ場等維持管理業務【再掲】	下水道施設の非常時電源保持率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		
	6012	⑳ 不明水対策事業 【主要な業務】 ・公設ます修繕工事 ・管路施設修繕工事	農業集落排水地区の有収率(%) 【目指すべき方向性】 89.5%を目指す	78.3	79.6	84.5	89.5	C	降雨状況等により対策の適確な効果が確認しにくい。宅地内の誤接続の指導による改善が進みにくい。
(3) 供給システムの強化	5002	① 配水幹線整備事業【再掲】 【主要な業務】 ・土崎環状線整備工事 ・千秋中通明田線、金足線、新屋線整備工事 ・外旭川幹線、豊岩幹線整備工事	配水ブロック実施率(%) 【目指すべき方向性】 100%を目指す	70.0	76.7	85.0	100.0	B	平成29年度から令和3年度にかけて配水幹線整備を実施した結果、老朽管の更新等が進んだため、配水ブロック実施率が向上したが、中間目標には届かなかった。
	5001	② 配水管整備事業【再掲】	配水ブロック実施率(%)	70.0	76.7	85.0	100.0		
	4003	③ 流量・水圧遠隔監視システム整備事業 【主要な業務】 ・通信設備設置工事 ・監視設備設置工事	水道の流量計・水圧監視設備整備率(%) 【目指すべき方向性】 100%を目指す	40.0	58.6	47.0	100.0	A	計画に基づき流量計・水圧監視機器を整備した。
	7001	④ 浄水場等整備事業【再掲】	浄水場設備経年化率(%)	54.0	52.0	54.0	54.0		
	9001	⑤ 仁井田浄水場更新事業【再掲】	仁井田浄水場更新基本計画の策定	未策定	30年度までに策定				

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

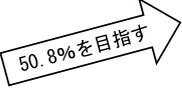
基本方針3 災害に強い上下水道の構築

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(3) 供給システムの強化	5006	⑥ 緊急貯水槽整備事業 【主要な業務】 ・飯島小学校内緊急貯水槽設置工事	緊急貯水槽設置済箇所数(箇所) 【目指すべき方向性】 	2	4	4	4	A	平成27年度から平成29年度までに緊急貯水槽を3箇所設置し、既設と合わせて合計4箇所とした。
	5003	⑦ 送配水施設整備事業【再掲】	送水管の耐震化率(%)	58.4	63.4	61.8	62.9		
	4008	⑧ 私道土地使用承諾書取得業務 【主要な業務】 ・私道土地使用承諾書取得	私道土地使用承諾書取得件数(件/年) 【目指すべき方向性】 	15	4	30以上	30以上	B	平成29年度から令和3年度までに計49件の私道土地使用承諾書を取得したが、目標件数には達しなかった。
(4) 危機管理の充実	1005	① 危機管理要領等の改訂 【主要な業務】 ・危機管理要領等の内容の確認と修正	危機管理要領等の見直し 【目指すべき方向性】 	実施	実施	毎年度実施	毎年度実施	A	危機管理要領等の見直しを毎年度実施した。
	1008	② 災害訓練の実施 【主要な業務】 ・災害訓練を実施	災害訓練回数(回/年) 【目指すべき方向性】 	2	3	2以上	2以上	A	災害訓練を毎年度2回以上実施した。
	1004	③ 非常用物資の備蓄 【主要な業務】 ・物資の備蓄	非常用物資備蓄率(%) 【目指すべき方向性】 	-	100.0	100.0	100.0	A	備蓄率100%を維持した。
	1011	④ 周辺の上下水道事業者との情報共有 【主要な業務】 ・意見交換会等への参加	意見交換会等参加回数(回/年) 【目指すべき方向性】 	-	9	2以上	2以上	A	周辺団体との意見交換会等へ毎年度2回以上参加した。

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針3 災害に強い上下水道の構築

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント		
				基準	実績	目標	目標				
(5) 浸水対策の 推進	6003	① 浸水対策下水道事業	雨水排水整備率(%)	49.0	50.7	50.3	50.8	A	新城川左岸3-1号幹線 および関連する管渠整備 等を計画に基づき事業を 進めた。		
		【主要な業務】 ・新城川左岸3-1号幹線整備 ・新城川左岸3-1号幹線関連整 備 ・草生津川右岸5号幹線整備 ・駅東区画整理内雨水管整備	【目指すべき方向性】 								
	6008	② 内水ハザードマップ 作成の検討	内水ハザードマップの 作成	-	検討済	30年度までに検 討	達成			B	内水ハザードマップの作 成について検討した結 果、市内全域を対象とし た内水ハザードマップで はなく、浸水区域に限定 した内水浸水想定区域図 を作成することとした。
		【主要な業務】 ・浸水被害データベースの構築 ・浸水シミュレーションの実施	【目指すべき方向性】 								

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針4 お客さまサービスの向上

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(1) お客さまとの 双方向性の 確保	1009	① 上下水道事業に関する情報提供の充実 【主要な業務】 ・ホームページの更新 ・広報紙等の配布	広報紙による情報提供回数(回/年) 【目指すべき方向性】 6回以上を目指す	6	6	6以上	6以上	A	広報あきたなどの広報紙による情報提供を毎年度6回以上実施した。
	1010	② アウトリーチ手法によるお客さまニーズの把握 【主要な業務】 ・水道ふれあいフェアの開催 ・出前水道教室の開催	出前方式による広報活動回数(回/年) 【目指すべき方向性】 2回以上を目指す	0	2	2以上	2以上		
(2) 利便性の 向上	2004	① 口座振替制度のPR 【主要な業務】 ・ホームページによるPR ・広報紙等の配布	口座振替率(%) 【目指すべき方向性】 80.3%を目指す	79.2	79.6	79.8	80.3	C	計画策定時よりも数値は向上したものの、キャッシュレス決済の普及促進を受けて令和3年4月から導入したスマートフォン決済実施により、目標達成には至らなかった。
	2006	② クレジットカード払い導入の検討 【主要な業務】 ・他都市状況調査 ・クレジットカード払いの導入	クレジットカード払いの導入 【目指すべき方向性】 導入の検討	-	検討済	31年度までに検討	達成		

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針5 経営基盤の強化

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(1) 事業運営の効率化	7001	① 浄水場等整備事業【再掲】	浄水場設備経年化率 (%)	54.0		54.0	54.0		
	9001	② 仁井田浄水場更新事業【再掲】	仁井田浄水場更新基本計画の策定	未策定	30年度までに策定				
	5001	③ 配水管整備事業【再掲】	水道の有効率 (%)	94.3		95.5	95.5		
	5003	④ 送配水施設整備事業【再掲】	水道の有効率 (%)	94.3		95.5	95.5		
	6002	⑤ 下水道処理場の再編 【主要な業務】 ・八橋終末処理場統合接続管渠、内改造工事 ・金足汚水中継ポンプ場建築工事	下水道処理場数 (箇所) 【目指すべき方向性】 	5	3	3以下	3以下	A	計画的に施設の統合を進めた。
	6010	⑥ 農業集落排水処理施設の再編 【主要な業務】 ・管路接続工事 (飛沢、石田坂、小山、豊巻、萱ヶ沢、笹岡、戸賀沢)	農業集落排水処理施設数 (箇所) 【目指すべき方向性】 	22	16	16	8	A	計画どおり順調に処理施設の再編が進んだ。
	2003	⑦ お客様センター所管業務の包括的民間委託 【主要な業務】 ・現契約の検証 ・業務内容・契約方法の決定 ・水準書等の作成、要綱等の整備、業者選定、契約締結、受託者研修	包括的民間委託の継続 【目指すべき方向性】 	—	31年度実施	31年度に実施		A	令和元年度から包括的民間委託を継続実施した。
	1013	⑧ 委託可能業務の検討 【主要な業務】 ・直営業務の精査 ・費用対効果の検証	新規業務の委託 【目指すべき方向性】 	—	30年度検討済み	30年度までに検討		A	局内WGを立ち上げて委託可能業務の検討を実施し、検討結果に基づき新たな業務委託に向けた準備を進めている。
1011	⑨ 周辺の上下水道事業者との情報共有【再掲】	意見交換会等参加回数 (回/年)	—		2以上	2以上			

【凡例: 中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針5 経営基盤の強化

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(2) 財政基盤の強化	2004	① 口座振替制度のPR【再掲】 【主要な業務】 ・ホームページによるPR ・広報紙等の配布	料金・使用料等の収納率 (%) 【目指すべき方向性】 	99.4	99.5	99.5	99.6	A	高額滞納者が令和3年度内に納付したことにより、中間目標を達成した。
	2007	② 債権回収業務の民間委託の検討 【主要な業務】 ・サービスの活用の検討	債権回収業務の民間委託 【目指すべき方向性】 	—	30年度 検討済み	30年度までに検討		A	債権回収業務の民間委託を検討した結果、サービスを利用した債権回収業務は行わないこととした。
	2005	③ 新たな料金・使用料体系の検討 【主要な業務】 ・他都市動向調査	料金・使用料体系の見直し 【目指すべき方向性】 	—	2年度 検討済み	31年度までに検討		A	令和2年度に大口需要者1者が使用水の一部を地下水に切り替えた事例と、令和元年度に実施したアンケートで回答があった63者の内、1者だけが今後地下水への切替えを予定しているとの回答であったことから、単独での大口需要者の割引制度の創設は行わないこととした。
	1007	④ アセットマネジメントの運用【再掲】	アセットマネジメントの検証・見直し	—		毎年度 実施	毎年度 実施		
	6005	⑤ スtockマネジメント計画に基づく改築・更新事業【再掲】 【主要な業務】 ・Stockマネジメント計画の策定 ・既存管の点検および調査 ・中央、土崎地区管渠更生工事	Stockマネジメント計画の策定 【目指すべき方向性】 	—	平成28 年度策 定済 (改訂 済み)	30年度までに策定		A	目標年度までにStockマネジメント計画を策定した。
	1014	⑥ 上下水道未利用地の管理 【主要な業務】 ・旧御野場浄化センター等解体撤去	遊休施設利活用数 (箇所) 【目指すべき方向性】 	2	8	10	11	B	未利用地の公売や民間事業者等への賃貸借により利活用が進んだものの中間目標達成には至らなかった。
	1015	⑦ 法定公共物表題登記測量業務 【主要な業務】 ・表題登記測量 45路線 約140筆	表題登記完了率 (%) 【目指すべき方向性】 	68.7	94.0	94.9	100.0	B	概ね計画どおり成果を上げたものの、用地境界交渉の不調等によりわずかに中間目標に届かなかった。
	4006	⑧ 上下水道統合型GIS維持管理業務【再掲】	上下水道統合型GIS保守率 (%)	100.0		100.0	100.0		

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針5 経営基盤の強化

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント	
				基準	実績	目標	目標			
(2) 財政基盤 の強化	4007	⑨ 上下水道統合型GISデータ更新業務【再掲】	上下水道統合型GISデータ更新率 (%)	100.0		100.0	100.0			
	1012	⑩ 広告収入等の検討 【主要な業務】 ・ 広告収入等の検討	広告収入等の確保 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">検 討</div>	—	30年度 検討 済み	30年度までに 検 討	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">達成</div>	A	広告収入等の確保に向けて検討したが、採算性が確保できないなどの理由で実施に至らなかった。	
(3) 組織体制 の見直しと 技術の継承	1001	① 組織体制の見直し 【主要な業務】 ・ 組織体制の見直し	業務執行体制の点検 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">毎年度実施</div>	実施	実施	毎年度 実施	毎年度 実施	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">達成</div>	A	毎年度、業務執行体制の点検を適切に実施した。
	1003	② 資格取得支援制度等の拡充 【主要な業務】 ・ 助成金額等の検討 ・ 助成要綱の設置	資格取得助成要綱の制定 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">要綱の制定</div>	—	29年度 制定 済み	30年度までに 要 綱制定	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">達成</div>	A	資格取得助成要綱を制定し、令和3年度末まで資格取得（更新含む）9件、運転免許取得1件の助成を行った。	
	1002	③ 体系的な職員研修の実施 【主要な業務】 ・ 職員研修の実施	職員の内部研修時間（時間／人） 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">32.0以上を目指す </div>	31.8	7.9	32.0時 間以上	32.0時 間以上	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">未達成</div>	C	内部研修時間（時間／人）の実績が目標値に満たなかった。
	4007	④ 上下水道統合型GISデータ更新業務【再掲】	上下水道統合型GISデータ更新率 (%)	100.0		100.0	100.0			

【凡例：中間評価】

S 目標以上の成果をあげた

A 目標どおりの成果をあげた

B 成果は出ているが、目標に達していない

C 十分な成果が出ていない

D 未着手、未実施

基本方針6 環境の配慮

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(1) 有効率・有収率の向上	5001	① 配水管整備事業【再掲】	水道の有効率 (%)	94.3	94.1	95.5	95.5		
	5002	② 配水幹線整備事業【再掲】	水道の有効率 (%)	94.3	94.1	95.5	95.5		
	5003	③ 送配水施設整備事業【再掲】	水道の有効率 (%)	94.3	94.1	95.5	95.5		
	4001	④ 漏水防止業務【再掲】	水道の有効率 (%)	94.3	94.1	95.5	95.5		
	2002	⑤ スマートメーター導入の検討 ・先進都市導入事例調査 ・スマートメーター本体価格動向調査	スマートメーターの導入 【目指すべき方向性】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">実施</div>	-	R4年度から実証実験の開始を決定	R3年度までに検討 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">達成</div>		A	検討の結果、令和4年度からスマートメーターの実証実験を開始することとした。
	6012	⑥ 不明水対策事業【再掲】	農業集落排水地区の有収率 (%)	78.3	79.6	84.5	89.5		

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施

基本方針6 環境の配慮

具体的 施策	実計No.	取組・事業	目標指標	H27	R3	R3	R8	中間 評価	評価コメント
				基準	実績	目標	目標		
(2) 環境負荷の低減	1016	① 低排出ガス車への計画的な車両更新 ・車両更新 約25台	低排出ガス車適合率(%) 【目指すべき方向性】 	76.2	100.0	100.0	100.0	A	車両更新時、低排出ガス適合車への更新を実施した。
	7007	② 浄水発生土の利活用 ・浄水発生土の販売	浄水発生土の有効利用率(%) 【目指すべき方向性】 	100.0	100.0	100.0	100.0	A	大口取引先を確保し、全量販売を継続できた。
	6007	③ 下水熱ポテンシャルマップの作成 ・秋田市下水道条例の改正 ・他都市事例の収集 ・下水熱利用・ポテンシャルマップ作成	下水熱ポテンシャルマップの作成 【目指すべき方向性】 	—	2年度 検討 済み	R2年度までに作成 		D	現状においてマップのニーズがないことから実施しないこととした。
	7001	④ 浄水場等整備事業【再掲】	浄水場設備経年化率(%)	54.0	52.0	54.0	54.0		
	8001	⑤ 汚水ポンプ場等改築・更新事業【再掲】	汚水ポンプ場等更新実施率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		
	9001	⑥ 仁井田浄水場更新事業【再掲】	仁井田浄水場更新基本計画の策定	未策定	30年度までに策定				

【凡例：中間評価】

- S 目標以上の成果をあげた
- A 目標どおりの成果をあげた
- B 成果は出ているが、目標に達していない
- C 十分な成果が出ていない
- D 未着手、未実施